

きのこを栽培してみよう！

天然・原木・菌床栽培の違い



天然もの

➡ 山に自生する野生(天然)のもの



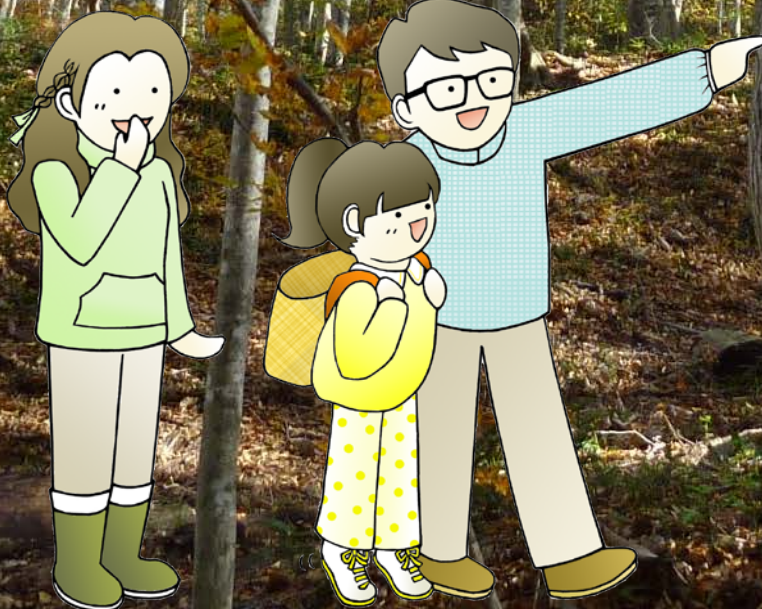
原木栽培

➡ フナ・ナラなどの木に植菌してきのこを発生させたもの



菌床栽培

➡ おが粉と米ぬかなどの栄養源を混ぜ合わせたものに植菌してきのこを発生させたもの



栽培できるきのこには、「木材腐朽菌」と呼ばれる木を腐らせて生えるきのこ、
「腐生菌」と呼ばれるワラや草などを発酵した堆肥に生えるきのこがあります。

シイタケやナメコなどは、木材腐朽菌の仲間、原木を使ったり、オガクズと
米ぬかなどを使って栽培します。また、マッシュルームなどは腐生菌の仲間、
コンポストを使って栽培します。



原木栽培

菌床(オガクズ)栽培



木材腐朽菌



コンポスト栽培

腐生菌

主なきのこ類の栽培法

きのこ類	栽培法	記述
シイタケ	原木栽培	コナラ、アベマキなどブナ科の樹木。
	菌床栽培	主に広葉樹ののこくずに栄養材を加えた培地。袋で培養し、袋から取り出してきのこを発生させる。
ナメコ	原木栽培	ブナ、トチ、サクラ、ヤナギ類などの樹木。
	菌床栽培	のこくずに栄養材を加えた培地。びん栽培。
ヒラタケ	原木栽培	エノキ、ヤナギ、ポプラなどの樹木。
	菌床栽培	のこくずに栄養材を加えた培地。びん栽培。
マイタケ	原木栽培	コナラなどの短木を栽培袋に入れて滅菌・接種し、菌糸を十分まん延させてから土中に埋め込む。
	菌床栽培	広葉樹ののこくずに栄養材を加えた培地。袋栽培が一般的。
エノキタケ	菌床栽培	のこくずあるいはコーンコブに栄養材を加えた培地。びん栽培。
ブナシメジ	菌床栽培	のこくずに栄養材を加えた培地。びん栽培。
エリンギ	菌床栽培	ヒラタケに準ずるが、発生・成育時の湿度を低めに設定。
マンネンタケ	原木栽培	クヌギ、コナラ、サクラなどの樹木。菌糸をまん延させてから土中に埋め込む。
	菌床栽培	広葉樹ののこくずに栄養材を加えた培地。びん栽培。

財団法人日本きのこセンター菌茸研究所(きのこ健康とのかかわりを科学する)より抜粋

村山地域の原木きのこの適用樹種

	シイタケ	ナメコ	ヒラタケ	クリタケ	マイタケ	タモギタケ	ムキタケ	ブナハリタケ
コナラ	◎	○		◎	○	○	◎	
ミズナラ	○	○		○	◎	○	◎	◎
アベマキ	○	△		○				
ブナノキ		◎	◎	◎		○	◎	◎
クリ	△	△		○	○			
クルミ		○	◎	○	◎		○	
ハンノキ	△	○	◎	○		○	○	○
ケヤキ		○	○	△		◎		
エノキ		○	◎	○		○		
ヤナギ		○	◎	○		○	○	
クワ		○	○	○		○		
ホオノキ		○	○	○		△		
カエデ		◎	○	○		○	○	○
トチノキ		◎	○	○		○	○	○
ハリギリ		○	○					
ミズキ		△	△					
リョウブ				○				
エゴノキ		○		△				
サクラ	△	◎	○	○		○	○	○
ヤチダモ		○	○			◎		○
カラマツ		△		○			△	

◎ 最適 ○ 適 △ やや適

村山地域の原木きのこの発生する時期



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
シイタケ				→						→	→	
ナメコ									→	→	→	
ヒラタケ										→		
クリタケ										→		
マイタケ									→			
タモギタケ							→					
ムキタケ										→		
ブナハリタケ									→	→		
マンネンタケ								→	→			
ウスヒラタケ						→	→	→				

